



カラーでご覧になりたい方は、錦小HP「学校だより」<http://www.ueis.ed.jp/school/nishiki/>までHPでは、学校だよりで紹介できなかった写真も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ミシンボランティアにご協力くださり、ありがとうございました。

5年生の家庭科では、ミシンを使ってランチョンマット等を製作する学習があります。多くの児童にとってミシンの使い方については担当教員からの指導・説明だけではなかなか理解して具体的な操作をするのが難しいところがあります。そのため、例年、ミシンの使い方に慣れていない児童達への臨時の指導者としてボランティアの皆様のご協力をいただいております。

今年度は、新型コロナウイルスの関係でボランティアの皆様の活動につきましては、現在のところ必要最小限の範囲でお願いをしておりますが、このミシンの指導については、児童の学習・技能習得のためには大変有効であるため、是非とも協力をお願いしたいということで、呼びかけのお手紙を配付させていただきました。

その結果、快くボランティアをしていただける保護者の方々からの申し出があり、9月14日（月）には事前の準備、15日（火）、17日（木）には児童への指導を行っていただきました。

おかげさまで児童達はミシンを安心して操作し、ランチョンマットづくりの学習に取り組む意欲が大変高まりました。また、今回の学習でミシン操作に自信をもち、家庭でもさらにやってみたいという思いをもった児童も見られました。

お忙しい中、ご協力いただきましたボランティアの皆様、本当にありがとうございました。



いじめゼロに向けて② ～相談ポストの設置について～

9月は、いじめゼロ強調月間ということで、全児童、全教職員が「いじめは絶対に許さない」という共通認識のもと、いじめの未然防止と早期発見・早期解決を目指して、いじめ対策への取組を行っております。

先日、保護者の皆様へ通知でお知らせいたしましたが、いじめや児童の悩み等への早期発見、早期解決のための方策の一つとして相談ポストを2階ギャラリー（北校舎と南校舎の連絡通路）に設置いたしました。これまでも、職員室入口においておりましたが、児童や保護者の皆様には十分な連絡がなされておりましたので、改めてポストをリニューアルし、設置場所を変えて、児童が気軽に利用しやすいようにいたしました。

今年度は、新型コロナウイルスの関係もあり、様々な面で不安を抱えている児童も見られますので、少しでも児童の学校生活が明るく楽しいものになるように、相談ポストも役立てていきたいと思っております。

保護者の皆様も、何か児童のことでご心配なことや相談したいことなどがありましたら、担任または、副校長までお気軽にご連絡をいただければと思います。



おじゃまします！！教室訪問 ～3の〇～

今回は、3年〇組です。担任は、S先生です。算数の時間にお邪魔しました。

本時は、「円と球」という単元（学習のまとめり）で、「円の中心を見付ける活動をとおりて円の直径の意味や直径と半径の関係について理解する」ことをねらいとして授業が行われました。

授業の最初に、先生は、「最初に、前の時間の復習をしましょう。」と言って、「丸い形のことを何といいましたか？」「円の真ん中のことを何といいましたか？」「円のまわりから中心に向かって引いた直線を何といいましたか？」と順に児童に問いかけました。それぞれの問いに対して児童全員から「円です。」「中心です。」「半径です。」と元気な声で返答がありました。



S先生は、今年度が初任です。いつも笑顔で元気はつらつ、しっかりと分かりやすい声で児童に話しかけるので、児童達もそれにつられてさらに元気に反応し、授業にも活気があります。

それから、先生は、「この前の時間には、教室内で円の形のものを探しましたね。どんなものがありましたか？」と尋ねると、多くの児童の手が挙がり、指名された児童からは、「はい。画鋏です。」「はい。のりのキャップです。」「はい。後ろの壁にはってある仕事分担表です。」とはきはきと答えます。児童達は、指名されてからの返事がきちんとでき、発表の言葉も単語ではなく語尾までしっかりと話すことができます。学習の仕方の指導が適切になされ、それが児童によく身に付いていることが分かりました。

復習が終わり、いよいよ本時の学習活動に入ります。まず、先生が、「今日のめあては、これです。」と言って、黒板に『円の中心を見つけよう』と書きました。児童達も、めあてをノートに丁寧に書いていきます。

そして、先生は、「これから皆さんに円の形の紙を配りますので、それを折って円の中心を見付けてみましょう。何回折ってもいいですよ。ただし、はさみで切ってははいけません。」と具体的に取り組む内容や注意点を説明しました。児童達は姿勢よく先生の話真剣に聞き、取り組むべきことについてしっかりと理解できているようでした。そして、先生は直径5cm程度の円形の紙を児童に配りました。

早速、学習活動開始です。どの子も意欲的に取り組んでいきました。先生は、児童の学習の様子を見守りながら必要に応じて個別に指導をしていきます。児童達は、紙を何度も折りながら問題の解決に取り組んでいきました。

児童各自の自力解決後、隣同士で考えを説明し合う活動「相談タイム」に入ります。児童達は、隣同士や近くの席の友達と折った円の紙を見せながら自分が見付けた「円の中心」について説明をしていきました。ほとんどの児童が2回以上円形の紙を折ることで折り目が交わったところが中心であることを発見できていました。

次に、先生は、大きめの青色と黄色、赤色の3枚の大きめの円形の紙を児童に提示し、「では、どういうふうに中心を見付けたかをこの大きい紙を使って折り目や中心の点を書いてもらいましょう。」と児童達に呼びかけました。児童達は、3枚の大きな色紙にとっても興味を示し、「青信号と黄色信号と赤信号だ！！」と興奮し歓声を上げ、多くの児童が挙手をします。その中から3名の児童が指名され、自分が取り組んだ折り方を円形の紙に書き込んで黒板に掲示しました。先生は、児童が掲示したものをもとに、2本以上の折り目が交わったところが円の中心になることを児童との対話を行いながら確認していきました。

最後に、本時のまとめとして、円形の紙に引いた直線を指さし、「円の中心を通り、円の端から端までを結んだ直線を直径といいます。」「直径の長さは、半径×2の長さです。」と円の直径の意味や直径と半径の関係について黒板にかいた図をもとに分かりやすく説明をして、授業を終えました。

S先生は、音楽が好きで、合唱やピアノ演奏も得意だそうです。校務分掌（学校の係）では拾得物（落とし物）を担当しています。S先生とともに、3年〇組の児童たちがこれからもさらにぐんぐん力を付け、より一段と素晴らしい児童に育つことを大いに期待しています。



※ 読みやすさを考え、教員の呼称は、「教諭」ではなく、「先生」とさせていただきます。

※ ホームページには、これら以外の写真も個人情報に配慮しながら掲載しております。
ぜひご覧ください。